

■使用上の注意事項

1. 使用電圧について

定格電圧以下でご使用ください。定格電圧を超える電圧を印加した場合、瞬間的であってもショート故障の発生原因になります。回路設計に際しては、機器の要求信頼度を考慮して適切な電圧軽減をしてください。

2. 交流成分を含む回路に使用する場合

以下の3項目について特にご注意ください。

- (1) 直流電圧および交流電圧せん頭値の和が定格電圧を超えないこと。
- (2) 交流の半サイクルで許容電流を超えた逆電圧がかからないこと。(3項参照)
- (3) リプル電流は許容値を超えないこと。

3. 逆電圧

有極性のコンデンサですので、ご使用の際は極性を間違わないようにしてください。逆電圧の印加はしないでください。

4. 許容リプル電流

ACA型を100kHz付近あるいはそれ以上でご使用になる場合の許容リプル電流および電圧は、各ケースサイズ毎の表1の許容電力損失値(Pmax値)とESR規格値から、以下の式で求めることができます。また異なる周波数の場合には、お問い合わせください。

$$P=I^2 \times ESR \text{ または } P=\frac{E^2 \times ESR}{Z^2} \text{ より、}$$

$$\text{許容リプル電流 } I_{max}=\sqrt{\frac{P_{max}}{ESR}} \text{ (Arms)}$$

$$\text{許容リプル電圧 } E_{max}=\sqrt{\frac{P_{max}}{ESR}} \times Z \\ = I_{max} \times Z \text{ (Vrms)}$$

ここで、

I_{max} 規定周波数での許容リプル電流 (実効値)

E_{max} 規定周波数での許容リプル電圧 (実効値)

P_{max} 許容電力損失 (W)

ESR 規定周波数でのESR規格値 (Ω)

Z 規定周波数でのインピーダンス (Ω)

表1 ケースサイズ毎の許容電力損失

| ケースサイズ | Pmax (W) | |
|--------|-----------|-------------|
| | セラミック基板実装 | ガラスエポキシ基板実装 |
| 20D | 0.110 | 0.072 |
| 31D | 0.150 | 0.085 |
| 45D | 0.165 | 0.100 |

注 これらの値は0.6のセラミック基板および0.8のガラスエポキシ基板に実装した状態で大気中で計測した実験値であり、基板の種類、実装密度、空気の対流状態等によって変わる場合がありますので、計算された電力損失値が本表のPmax値と同程度になる場合には、お問い合わせください。

5. 漏れ電流

漏れ電流は、はんだ付け等の熱ストレスや機械的ストレスにより増加することがあります。

このような場合、回路で通電すると、漏れ電流は下がり安定します。

6. バイポーラ接続について

バイポーラ接続での使用はできません。

7. はんだ付け

7.1. プレヒート

コンデンサの信頼性を向上させるには、はんだ付け時に加わる熱衝撃を緩やかにするのが有利です。

130~160℃(1分間)のプレヒートを必ず行ってください。

7.2. はんだ付け

コンデンサ本体温度が240℃を超えない条件の下で、はんだ付けを行ってください。

(1) リフロー

基板面クリームはんだを印刷塗布し、コンデンサを装着して加熱する方法で、加熱方式により直接加熱と雰囲気加熱に区分されます。

・直接加熱(ホットプレート)

・雰囲気加熱

a) 近赤外、遠赤外線加熱

b) 循環式加熱炉

VPS実装、フロー実装は推奨致しません。

(2) はんだごて

温度および時間制御が困難であり、はんだごてによる取り付け修正は推奨できません。やむを得ず行う場合は、コンデンサ本体の端子部にはんだごてを当てないようにして、350℃以下、3秒以下、ごて出力30ワット以下の条件で速やかにはんだ付けを行ってください。

(3) その他各種の方法がありますので、ご使用にあたっては当社営業にご相談ください。

8. 溶剤洗浄

有機溶剤を用いた洗浄では、その洗浄効果だけを追及することは、コンデンサの外観、機能を損ねる場合があります。当社のコンデンサは2-プロパノールに、20~30℃にて5分間浸せきされても影響はありませんが、新しい洗浄方式の導入又は、洗浄条件の変更等に際しましては当社営業にご相談ください。

9. 超音波洗浄

苛酷な超音波条件で洗浄を行なうと端子が切断されることがあります。また電気的特性面からも好ましくありませんので、出来る限り使用しないでください。もし使用される場合は以下の配慮をお願いします。

(1) 溶剤を沸騰状態にしないでください。(超音波出力を下げるか、沸点の高い溶剤を使用してください)

(2) 超音波出力0.5W/cm²以下にしてください。

(3) 洗浄時間は極力短くし、かつ試料は揺動させてください。

なお、ご使用に際しては当社営業にご相談ください。

10. 保管

保管は納入時のリール、防湿袋に入れて密封したまま保管してください。

NCC 松尾電機株式会社



導電性高分子アルミコンデンサに関するご相談は下記へお気軽にお電話下さい。

東日本営業部 : 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1丁目10番1号(サクラビル) TEL(03)3295-8800 FAX(03)3295-4213

西日本営業部 名古屋営業課 : 〒446-0074 愛知県安城市井杭山町一本木5番10号(碧海ビル3F) TEL(0566)77-3211 FAX(0566)77-1870

西日本営業部 大阪営業課 : 〒561-8558 大阪府豊中市千成町3丁目5番3号 TEL(06)6332-0883 FAX(06)6332-0920

海外営業部 : 〒561-8558 大阪府豊中市千成町3丁目5番3号 TEL(06)6332-0883 FAX(06)6332-0920

当カタログの掲載内容は、予告なく変更することがありますので、ご使用に当たっては、弊社営業担当へお問合せの上、仕様のご確認をお願いします。